

IIDA CITY
広報

いいだ

2025
(令和7年)

8

No.1198



特集

「通いたい」「通わせたい」 学園を目指して

「りんごのなぜ？」をワクワクしながら探究
【旭ヶ丘学園伊賀良小学校6年生】

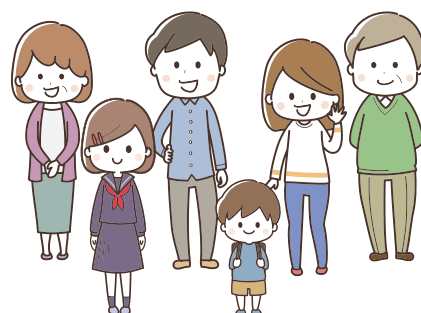
地域で農園を営む方を先生として学校に迎え、「なぜ？」と疑問を投げかけるこどもたち。教室を飛び出して果樹園で探究的な学びを深めます。



市内9つの中学校区を、小中一貫校としての『学園』と位置付け、9年間の一貫した学びをつなぐ「飯田学園構想」がスタートしました。

令和8年度からの本格始動に向け、学校が、保護者が、地域が動き始めています。

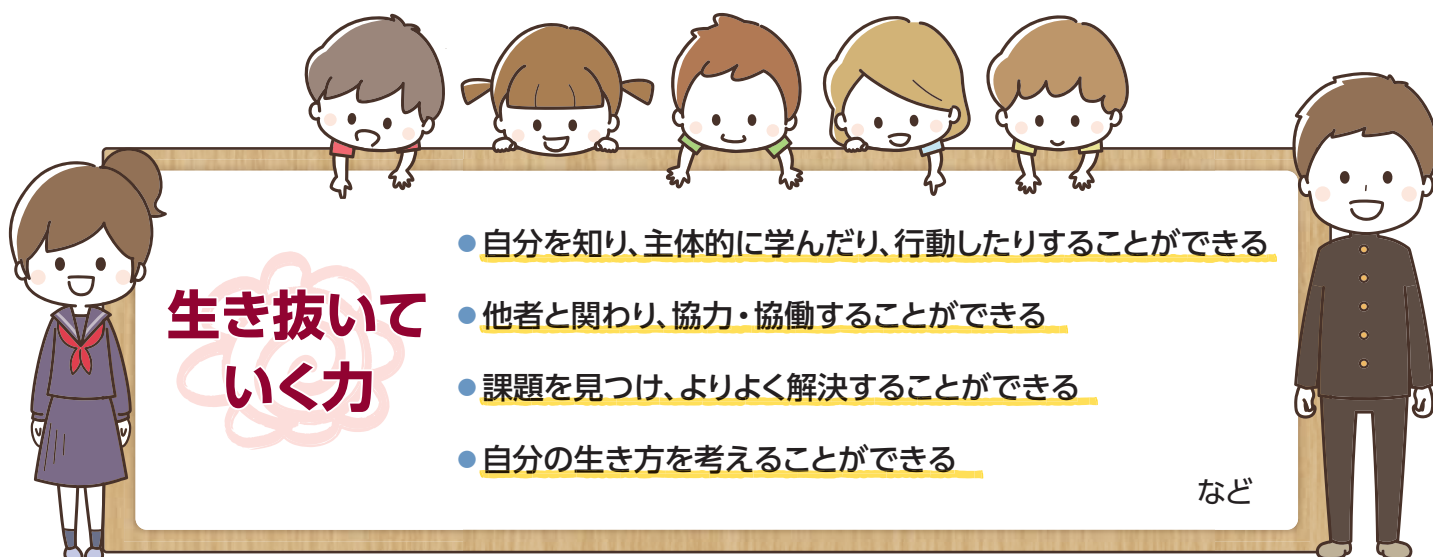
☎ 問い合わせ／教育センター 内線3731



『飯田学園構想』で進める「小中一貫教育」で育む力

変化が激しく、先行きを見通すことが難しい時代。

こどもが、生涯にわたって主体的に他者と協働しながら生き抜いていく力の基礎を育むため、これまでの教育活動を更に充実させた小中一貫教育で、特色ある教育を進めます。



『飯田学園構想』における特色ある教育

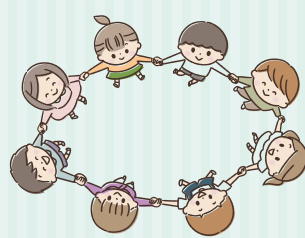
小中一貫教育の推進

小中学校の先生が1つのチームとなり、9年間を通じて教育活動に取り組むことで学びのつながりができ、こどもが発達段階に応じた力を着実に身に付けていきます。



異年齢の学び合いの実施

異なる学年のこども同士の学び合いが増え、こどもたちがお互いの違いを認め合い、他者と協働して生きていくことの大切さを学びます。



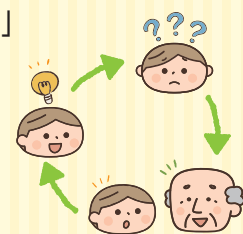
みらい創造科の創設

地域の方と関わる体験などを通して、自分とふるさとの良さや可能性に気づき、自分の生き方を考えていく探究学習を積み重ねることで、こどもが自分自身の力で豊かな人生を切り開いていく力を身に付けていきます。



ムトスの学びの実践

こどもの「なぜ?」や「～したい」を出発点にして、自分から進んで学びに向かい、よりよい考え方や行動を生み出し、さらに学ぼうとする意欲を育んでいきます。



学園長に聞いてみました

現在、各学園では、学園長が中心となって学園学校運営協議会を開催し、学園が「めざす子どもの姿」、「グランドデザイン(※)」や「学園運営の基本方針」を策定しています。

※学園全体の目標や方針、取り組みなどをまとめた学園の基本構想のこと



喜多 篤史
きた あつし

竜峡学園長
(龍江小学校長)

竜峡地域は、伝統芸能・産業・歴史など豊富な学びの対象があり、それぞれの分野に専門家も多くいらっしゃいます。また、保護者や地域の皆さんが学校に対して高い関心を寄せ、惜しみなく力を貸してくださる地域です。竜峡学園では、この地域の皆さんと「つながる」、学校同士が「つながる」をキーワードに「ふるさと竜峡を愛し、自ら考え、たくましく生きるこども」の姿をめざして、学園の仕組みを一年かけてじっくりとつくっていきたいと思います。



下郷 貴広
したごう たかひろ

遠山郷学園長
(和田小学校長)

遠山郷学園は、飯田市全体で学園構想がスタートする以前から、地域の特色を生かした小中一貫教育を大切にしてきており、小中学校の9年間だけでなく、保育園も合わせた2園3校で12年間のこどもの成長を継続的に見守っています。遠山郷の自然、遠山の霜月祭に代表される文化や地域での暮らしそのものが学びの対象であり、地域の宝としてこどもを大切に思っただけの地域の皆さんとともに育んでいきたいと思っています。



曽我 佳伸
そが よしのぶ

竜東学園長
(千代小学校長)

竜東学園が「めざす子どもの姿」は、『竜東地区の自然と人と関わる体験を重ね①ふるさとを愛し誇りに思い、自分のことばで竜東地区の素晴らしさを語れる、心豊かなこども②自ら考え判断し、「一歩進んだ私」をめざすたくましいこども』です。互いに学び合い切磋琢磨できるよう、小学校同士や小学校と中学校のつながりをこれまで以上に深め、一貫した教育活動を進めます。地域の皆さんと学校が同じ気持ちで学園構想を進めていききたいと思っています。

学園地域コーディネーターを紹介します



学校と地域を結ぶアドバイザーである「学園地域コーディネーター」は、学園学校運営協議会のメンバーとして参加し、学園ごとのランドデザイン策定にも関わります。また、地域との関わりが重要となる「みらい創造科」を進めていく上で、重要な役割を担います。

学園地域コーディネーターにお聞きしました。



中井 文彦

なかい ふみひこ

小中学校の教員として37年間勤め、現在は飯田短期大学の特任教授をしながら学園地域コーディネーターの活動を行っています。子どもたちや先生方の願いや思いを一番に考え、ランドデザインやカリキュラムについて話しています。県地域の皆さんの地域や学校に

寄せる思いは特別です。皆さんの思いを引き継ぎ、子どもたちにもこの地域を語れる人になって欲しいと思います。また、ボランティア活動が盛んで、自発的に取り組む姿がよく見られます。9年間で子どもたちが「どのように学ぶか」を特に意識してコーディネーターの活動に取り組んでいきたいと思っています。



熊谷 篤

くまがい あつし

普段は、りんごなどの果樹栽培をしている農家です。これまで、公民館委員や主任児童委員、PTA会長としても学校や地域と関わってきました。この経験を生かしてコーディネーターとして学校と地域をつなぐ役割をしています。

旭ヶ丘学園のある地域は、都市機能が整っている一方で、多様なお祭りが伝承されているなど楽しく暮らしやすい地域です。また、面白い大人がたくさんいます。この面白い大人がこどものワクワクやドキドキを引き出し、やりたいことをどんどんやらせてあげることができる地域だと思います。子どもが地域の大人と関わることで、地域を好きになり、いずれは帰ってきてもらいたいと願いながら学園地域コーディネーターの活動をしています。

市内9つの学園に1人 学園地域コーディネーターが います。

- 飯田東学園 篠田 典秀 さん
- 飯田西学園 伊 藤 晃 さん
- 緑ヶ丘学園 羽 生 武彦 さん
- 竜 東 学 園 木 下 貴 文 さん
- 竜 峡 学 園 林 久 人 さん
- 旭ヶ丘学園 熊 谷 篤 さん
- 県 学 園 中 井 文 彦 さん
- 高 陵 学 園 宮 澤 傳 二 さん
- 遠山郷学園 小池 真沙美 さん



みらい創造科ってなに？

いま、各学園では、こどもたちが自ら求めて地域のひと・もの・ことに触れ、体験し、考える新しい教科「みらい創造科」の準備をしているところです。こどもがワクワク・ドキドキしながら、自分とふるさとの未来を創造する楽しい探究的な学びを、地域の皆さんと一緒に考えています。



下久堅小学校では、「自分も笑顔、下久堅も笑顔」を合言葉に、探究的な学習の時間「ひさかたチャレンジ」が新たに始まりました。学年に関係なく、好きなテーマごとに集まり、地域の方と自ら関わりながら活動しています。

橋復活プロジェクトグループ

昔、下久堅小学校の「幸せの池」には、橋がかかっていた。昨年度、**地域の方に、橋の上で楽しそうに遊ぶこと**の**写真を見せてもらったこと**がきっかけになり、「幸せの池に橋を復活させよう！」という活動が始まりました。

START!

★私の願いをもつ

幸せの池に橋を復活させたい！

★私の問いをもつ

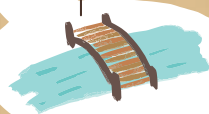
どうやったら橋をかけることができるだろうか？

★出会う



昔橋を作った地域の方に電話して、協力をお願いします！

★挑戦する



みんなで考えた模型をもとに
地域の方と一緒に
橋をかけよう！

★話し合う



どうやったら橋を
かけることができるかな？

★体験する



どんな橋がいいかな？
橋の模型を作ってみよう！

★やってみる



池に入って深さを調査。
昔の橋脚を発見！

★新しいSTART

★新しい
私の願いをもつ
★新しい
私の問いをもつ

願いや問いから挑戦までの
学びを繰り返すことで...

**地育力による
未来をひらく
心豊かな人**

GOAL!

熊谷邦千加 教育長から



こどもたちが、ワクワク、ドキドキ、トコトン夢中で探究していく学びを、地域の自然、人や特徴を生かして、小中学校の9年間を通して取り組み、こどもたちの豊かな経験、生きる力にしたい。そして、この地域を担う、支える、大切な人になってほしい、そんな願いをもとに「みらい創造科」の学習を軸にした「飯田学園構想」が始まりました。さらに、学校のあり方審議会では、各学園の特色と魅力ある教育を目指し、学校の配置・枠組みのあり方（第2次方針）について議論を進めてまいります。ご理解とご協力をお願いします。

飯田まつり飯田りんごん ポスター表彰式



8月9日に開催される「飯田まつり 飯田りんごん」のポスター図案審査結果の発表と、表彰式が行われました。祭りの楽しさと賑やかさを想像しながら描いたことが伝わってくる素晴らしい作品です。

遠山の霜月祭を万博で



大阪・関西万博会場で「南信州民俗芸能フェスティバル in 大阪・関西万博」が7月13日に開催され、「遠山の霜月祭」を「木沢霜月祭保存会」らが披露し、伝統芸能を国内外に発信しました。

新しいスポーツに挑戦 ゆいスポ



こどもたちに自分の好きなことを見つけてもらうスポーツ体験フェスタ「ゆいスポ」を開催しています。6月15日は、小学校4年生から中学校3年生までの70名が、アーチェリーなどを楽しく体験しました。

橋北地区にて 大学生が活動中



明治大学建築・アーバンデザイン研究室が、春草通り沿いの安東邸はなれ「さてらす」で丘の上の写真展を開催しました。旧飯田測候所「りてらす」でも毎月イベントを行っています。ぜひ足をお運びください。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

ライフデザインセミナー



市内高校生を対象として、自分の生き方を考える講座を開催しています。7月9日は、飯田風越高校で開き、男女が共に尊重し合う生き方を考えるとともに、自分の将来を想像する機会となりました。

発掘現場を見学



座光寺小学校の6年生が、リニア駅建設予定地周辺で進められている発掘の現場を見学しました。実際に発掘された古墳時代や奈良時代の土器などを見て、地域の歴史を学びました。

いいレポ☆任命式



6月16日、飯田短期大学の学生7名を飯田市学生レポーター「いいレポ☆」に任命しました。飯田の魅力を若い視点でInstagramを中心に発信していきます。

いいだ高校生ESD塾



地元高校生の探究的な学びやアカデミックスキル（課題の発見、情報収集、表現する力など）の向上に、学輪IIDAの大学教員や現役の大学生が1年を通じて関わる「いいだ高校生ESD塾」を開講しました。

現代版 養生訓

眼科
森 俊男 医師

緑内障治療の現状と低侵襲手術（MIGS）について

緑内障は、40歳以上の日本人の約20人に1人がかかるとされる身近な目の病気です。眼圧の上昇などにより、目の奥にある視神経が徐々に傷んでいき、見える範囲（視野）が少しずつ狭くなっていきます。加齢とともに発症率は高くなり、特に強い近視のある方は注意が必要です。一度失った視野は回復しないため、緑内障は日本における失明原因の第1位となっています。

この病気は初期には自覚症状がほとんどなく、気づかないうちに進行してしまうため、早期発見・早期治療がとても重要です。緑内障の治療は目薬から始まりますが、種類も多く、必要な本数をきちんと点眼できない方が少なくありません。目薬の効果が感じにくいことや副作用もあって中断してしまい、結果として病気が進行してしまうケースが多いことが問題となっています。こうした背景から、近年では目薬を増やすよりも、早めにレーザー治療や手術を検討する方針が広がっています。

最近注目されているのが「低侵襲緑内障手術（MIGS）」です。従来の手術に比べて目の負担が少なく、安全性も高いのが特徴です。かつての緑内障手術は1時間ほどかかっていましたが、MIGSの手術時間は5～10分程度と短く、白内障手術と同時にすることも可能です。適切なタイミングで手術を行うことで、点眼薬の数を減らし、患者さんの負担を軽減できるメリットもあります。

毎年3月上旬には「世界緑内障週間」に合わせて、公共施設や病院などが緑にライトアップされ、緑内障の啓発活動が行われています。当院もこの活動に参加しています。40歳を過ぎたら、ぜひ定期的な眼科検診を受けて、大切な目の機能を守りましょう。



飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.51

市長室から

市長
佐藤 健

リンゴのなみ木

このコラムが皆さんの目に触れる頃には既に終わっていますが、7月に総務省自治大学校で講師としてお話しする機会を頂きました。

飯田市のまちづくりが市民の皆さんの自治の精神（ムトスの精神）に支えられていることをりんご並木のエピソードを紹介しながらお話ししようと考えています。

『心に太陽を持て』（山本有三編著・新潮文庫）に「リンゴのなみ木」というタイトルのお話が収められていることをご存じですか？

同著には、パナマ運河開設の話やスコットの南極探検の話、「落穂拾い」で有名な画家ミレーの生涯や「ロウソクの科学」という名著を残した科学者ファラデーの生涯など、山本有三が世界中の逸話の中から厳選した物語

が20編余り取り上げられており、その中で我々が「リンゴのなみ木」の物語は、トリ前（最後から2番目）を堂々と飾っています。

自治大の講義では、そこから次のような飯田東中学校の生徒の言葉を紹介しようと思っています。

「ぼくらは、赤い美しい実をみのらせることによって、町を美しくするばかりでなく、町の人々の心をも美しくしてゆきたいのだ。そうした社会的精神が、町じゅうに行きわたる時、はじめて、この飯田市の復興も達成されるのだと思う。」

リンゴの実に大火からの復興の希望を託した先人たちの思いを、「まちのDNA」として将来にわたって繋いでいきたいものです。